



Cakes made by Mii-chan

お店が開くのは月2回ですが、それ以外の日も1日に3台限定で「おまかせケーキ」の予約も受け付けています。予約はウェブサイトから



お店の売り場と調理場の間はすりガラスで仕切られています。お客さんの存在を感じながら仕事ができるようにという、こちらもみいちゃんのリハビリの一環です

お店の売り場と調理場の間はすりガラスで仕切られています。お客さんの存在を感じながら仕事ができるようにという、こちらもみいちゃんのリハビリの一環です

**Information**  
**みいちゃんのお菓子工房**  
<https://mi-okashi.com>  
 【住所】  
 近江八幡市上田町1257-18  
 .....  
 月2回、日曜日の14～16時にのみ開店。詳しくはウェブサイトの店舗情報内「販売日カレンダー」にて



Chocolate cake

本誌の表紙用に、2月らしいチョコケーキをつくってもらいました。予約メニュー「おまかせケーキ」はその名のとおり内容はおまかせですが、嫌いなものやアレルギー食材にはしっかり対応してくれます

食物の提供が可能で、さらにホールとキッチン間が仕切られていたので、みいちゃんがケーキづくりの腕を披露するのにもってこいの場所でした。最初はSNSだけでお客さんを募集していましたが、徐々に口コミで広がり、新聞メディアに取り上げられた後は常に満席の日が続きました。みいちゃんの将来を心配していたお母さんでしたが、その様子を見てある決心をします。みいちゃんがSNS上に書いていた夢「いつか自分のお店が持たいです」を実現させてあげよう、と。

「みいちゃんのお菓子工房」は、月に2回の日曜日に2時間だけオープンします。5坪の店内には売り場と調理場が併設されていて、すりガラスの向こうではみいちゃんがパティシエとして腕をふるっています。

みいちゃんは現在、養護学校の中等部に通いながら、お菓子工房のオープン日に合わせてケーキづくりに励んでいます。目標は「毎週お店を開ける」とことと「ランドオープンまでがんばります」。みいちゃんが新しい環境に慣れるには3年ほどかかるため、2023年のランドオープンをめざしています。

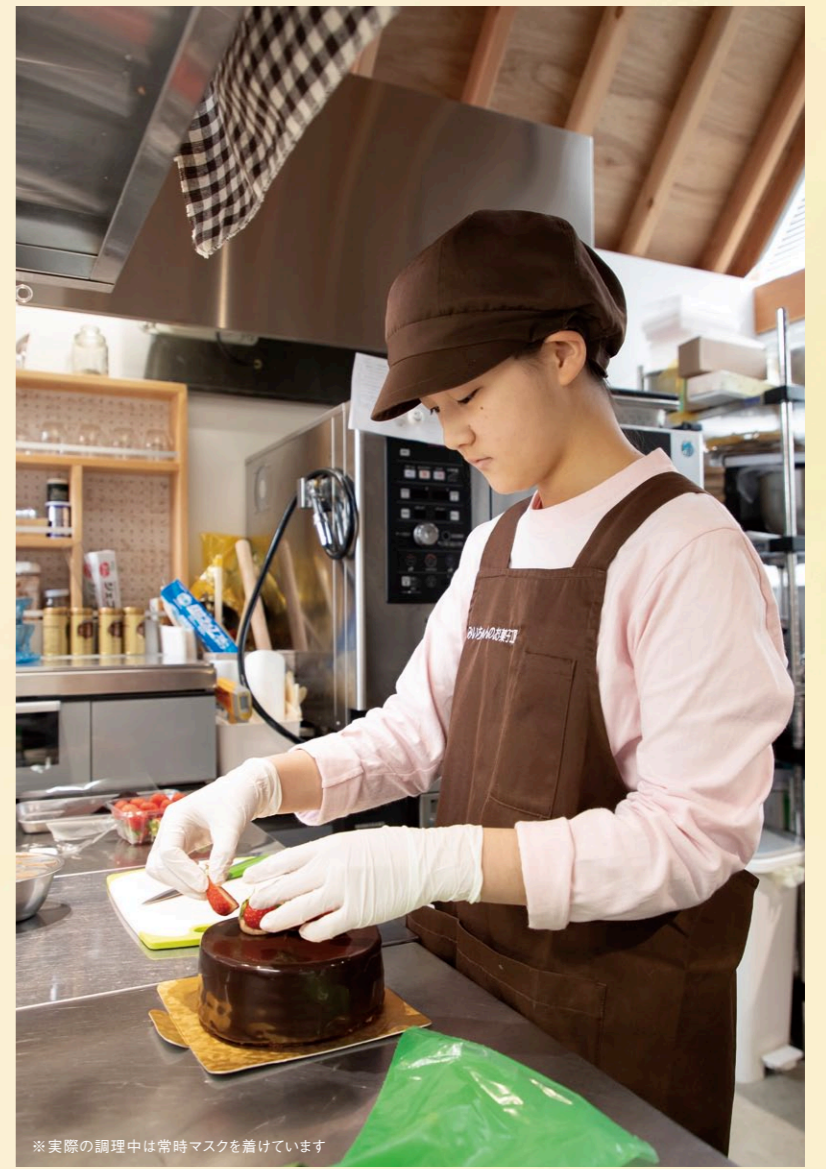


みいちゃんのお菓子工房  
 cake cookies breads

# みいちゃんのお菓子工房

巻頭特集... 驚きとワクワクのおいしさがいっぱい!

たつぷり苺ショートケーキ、濃厚チョコのガトーショコラ、季節の風味豊かなモンブラン、ほのかな酸味がクセになるチーズケーキ。私たちのまちには、おいしいケーキ屋さんがたくさんあります。では、あなたは知っていますか？ 近江八幡市内には、小さなパティシエさんが一人ずつ、絶品ケーキを食べられるお店があることを。



※実際の調理中は常時マスクを付けています

お店の調理場でケーキづくりに励むみいちゃん。「場面緘黙症」を抱えるみいちゃんは、お店の外では極度の不安で人間の機能がシャットダウンされ、眼球以外が動かなくなってしまいます。みいちゃんはケーキ屋さんで好きなケーキづくりをする傍ら、リハビリに励んでいるのです

## 大好きなケーキづくりで才能が開く

JR近江八幡駅を南へ。家電量販店ジョーシン近くの住宅街の中に、「みいちゃんのお菓子工房」という小さなケーキ屋さんがあります。普通のケーキ屋さんとは違うのは、オープンするのが月に2回だけで、来店予約制であること。それに店唯一のパティシエが13歳の女の子で、知らない人とおしゃべりするのが少しだけ苦手なこと。

みいちゃんは4歳ごろから自宅以外の集団生活の場が動かなくなり、「場面緘黙症」という心の病気だと診断されました。小学2年生から支援学級に在籍し、なんとか学校生活を送れるようになつてとうとう学校にも行けなくなつてしまいました。心配したお母さんは、せめて世間との関わりを持てるようにとみいちゃんに携帯電話を持たせてあげます。これがみいちゃんの人生を一変させました。

みいちゃんは元々お菓子づくりが大好きで、よく自宅のキッチンでお母さんと一緒にケーキをつくっていました。つくったケーキの写真をSNSにアップしたところ、「すごい」「おいしそう!」といった賞賛のコメントが相次ぎます。みいちゃん



コロナ禍以前に月1回開催していたカフェでは、ホール係をお仕事体験に来た子どもたちにお任せ。社会貢献とみいちゃんのリハビリの両方を兼ねています

は喜んで返事を書き、また次のケーキづくりを始めました。みいちゃんはSNSを通じて、他人とコミュニケーションをする楽しさを知ったのです。みいちゃんは心の病気を抱えるかわりに、類まれな才能を持っていました。抜群の記憶力と再現力です。一度目にしたレシピはすぐに頭の中にインプットされ、再現することが出来ます。みいちゃんのお菓子工房は

6年生になつて間もなく、みいちゃんは地域のコミュニティセンター内にある旧レストランスペースを借りて月に1度のカフェを始めます。そこはスペース内でのイートインに限り飲むみるうちにプロさながらのクオリティーになり、SNS上で大きな話題を呼びました。いつかSNSに書いた夢家族や支援者の力で実現へ